

遙か未来、人類が宇宙へと進出した時代。

ある小惑星帯に、老夫婦が静かに暮らしていました。

夫はデブリ回収業者として宇宙を飛び回り、妻は小惑星の自宅で水耕栽培をしていました。

ある日、妻がドッキングポートで宇宙船の洗浄をしていると、  
観測史上ないほど巨大な宇宙葡萄の房が、ゆっくりと自転しながら近づいてきました。  
その葡萄は、一粒一粒が家ほどもあり、美しい紫色に輝いていました。

「まあ、なんて珍しい葡萄でしょう」。

妻は驚きながらも、マニピュレーターアームを巧みに操り、  
その巨大な葡萄の一粒を慎重に回収し、居住ブロックへと運び込みました。  
夕方、夫がデブリ回収の仕事を終えて帰還すると、妻はその巨大な葡萄を見せました。  
あまりの大きさと美しさに夫も目を見張りました。

「これはきっと、伝説の『創世の葡萄』に違いない。食べれば不老不死になれるという…」。

二人が期待に胸を膨らませ、レーザーカッターでその葡萄の厚い皮に切れ込みを入れると、

まばゆい光と共に、中から元気な男の子の赤ちゃんが現れたのです。

宇宙葡萄から生まれたその子を、二人は「葡萄太郎（ぶどうたろう）」と名付けました。

葡萄太郎は、老夫婦の愛情を一身に受け、

小惑星の特殊な環境と栄養豊富な宇宙葡萄のエキスをすくすくと育ちました。

彼は生まれながらにして宇宙空間での活動に適応しており、驚異的な身体能力を持っていました。

数年後、たくましい青年に成長した葡萄太郎は、

近隣の星系を荒らし回る悪名高い宇宙海賊「ジャックマター」の噂を耳にします。

彼らは貴重な資源を略奪し、平和な植民星を破壊の危機に陥れていました。

「僕が行って、ジャックマターを懲らしめてきます」。

葡萄太郎の決意は固く、妻は栄養満点の宇宙きび団子を、

夫は最新型の小型宇宙艇を彼に与えました。

旅の途中、葡萄太郎は3体のユニークな仲間と出会います。

最初に訪れたサイバーパンクな機械惑星で、

忠実なAIを搭載した犬型ロボット「イヌ-X」を仲間にししました。

次に立ち寄ったジャングル惑星では、驚異的な知能を持つ猿型サイボーグ「サル-Z」の助けを借り、

最後に、廃墟となった宇宙ステーションで、

超高速で飛行する鳥型ドローン「キジ-V」を修理して仲間に加えました。

葡萄太郎と3体の仲間たちは、宇宙艇でジャックマターの本拠地である暗黒星雲へと向か

いました。

そこは無数のアステロイドが飛び交う危険な宙域でした。

激しい弾幕をかいくぐり、敵の防衛網を突破した彼らは、

ついに宇宙海賊の巨大な母船に乗り込みます。

母船の内部は迷路のように入り組んでいましたが、

イヌ-Xの解析能力、サル-Zのハッキング技術、キジ-Vの偵察能力を駆使して、

葡萄太郎はついに首領の部屋へとたどり着きました。

首領は巨大な体を持つ恐ろしい異星人でした。「我々の邪魔をするとは、愚かな地球人め！」。

激しい戦闘の末、葡萄太郎は仲間たちとの連携プレイで首領を打ち破り、

ジャークマターを降伏させました。彼は奪われた宝物と資源を解放し、

それらを元の持ち主である各植民星に返還しました。

葡萄太郎の活躍は全星系に知れ渡り、

彼は宇宙の平和を守る英雄として、末永くその名を語り継がれることになりました。